

第4回 総合振興計画審議会 後期基本計画（案）におけるご意見等について

番号	ページ	行	ご意見やご質問	対応	
				部署	回答
1	広報誌		9月号の広報に人口の目標値について若干下回ったとのことで出ていたが、実際どうだったのか。	企画課	四万十町人口ビジョンで目標としていた2020年の人口は15,711人であったが、実際の人口は15,596人であった。（R2国勢調査速報値）もともとの社人研の推計値は15,441人であり、その数値については上回ることができたという状況です。
2	5	グラフ	人口のことが書かれているんですが、総人口と年齢3区分別の人口というのがあって、ここの人口の数字が足してみると違うところがいくつかあるんですが	企画課	総人口には年齢がわからない人も含まれておりますが、年齢3区分別人口は、年齢がわからない人が除かれているため、合計値が合いません。（国勢調査の数値に間違いはありません）
3	18	上から4行目	町の将来像というところがあって、2行目に四国山脈という表現があるんですが四国山地の間違いではないでしょうか。	企画課	四国山地に修正しました。
4	65	上から8行目	公共交通の整備とか支援とか、そういったことが書かれていないのではないかなと思いましたので、書いてはいかがですか。	企画課	67ページ（施策目標18 まち・くらしの基盤整備の推進）に総合的な公共交通網の確立という施策があり、路線バスや公共交通網の整備について記載をしております。
5	71		行財政運営の方針というのか、書いてあるんですけども、ほとんど中身が前回と変わってないかなと思います。	企画課	一部文言を修正します。

6	その他	前期計画のKPIに対する実績等、前期計画からの流れがわかるような計画にしてはどうか。	企画課	前期計画のKPIについては、R3の実績となっていることから、現段階では正確な数値が出せないことや、町民のアンケートでしか把握できない項目もあったことから、今回は前期計画の評価と後期計画は分けて作成をさせていただきます。
	内容	ご意見		
7	SDG s の推進	振興計画の24ページにもきれいに整理をされているので、書いてあるとおりだと思いますが、SDGsはそんなに難しいことではなくて、まさしくこの中山間地域で、住み続けられることが、私はSDGsなのかなというふうにも思います。		
8		これからの5年間の計画の中で推進するのであれば、推進するとはっきりと表現することもそうですし、具体的にどれがSDGsなのというところなんですね。そういったところをSDGsのためにこの施策作りましたとか、この事業がありますなど、今まではこうやってましたが、SDGsのためにこういうふうにチェンジしましたといったところが、これからの5年間の中でより具体化していくことが重要だと思います。		
9		それぞれの地域、窪川、大正、十和とかそれぞれの地域の課題があると思いますので、それに合わせて1番当てはまるものを地域のアクションプランみたいな形でやっていけばいいんじゃないかと思います。		
10	人口減少対策	第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略にも書かれておりますが、人口減少対策が非常に重要だと感じていて、まちの活気とか産業など多方面に関連してくることだと思いますので、現状の取り組みで良いのかどうかという点についても再度協議いただいたうえで今後も継続して進めてもらいたい。		
11		移住者を呼び込むという観点で言ったら、皆さん働き盛りのときは、子育てや親の介護などで頭がいっぱいだと思います。そういうのが一段落して、退職してから、まだまだこれから第2の人生で何かしたいと考えている方が日本には沢山いらっしゃると思うので、そういったこれまでの仕事で培ったそれぞれの分野のスペシャリストの人が集まるような施策を展開してほしい。		
12		移住者で新規就農される方もいると思いますが、スムーズに地元に着定できるように、行政や地域の手厚いサポートが必要と考えます。		
13		いかに四万十町に移住をしていただくかや、この四万十町でどれぐらいの男女が結婚し子育てや教育がしていけるような環境づくりをいかに整えることができるかだと思います。		

14	協働のまちづくり	地域住民が自分のこととして感じられるような場面を作ったりとか、こういう町をみんなで作っていこうというような計画にならないと、自分事としては感じていけないんじゃないか。
15		総合振興計画を絵本にするなど、まちがこういうことを目指しているんだよということが、子どもから大人まで共有できるようなわかりやすいものがあれば、計画を身近なものとして感じられるのでは。
16		協働という言葉を使う時には、やっぱり平等にみんなが同じ立場で関わろうとすることが必要だと思います。
17		職員の方が住民の方に説明する時の、何か媒体とかメディアとかそういったものが必要ではないかなと。
18		まちづくりの講演会があれば、職員に対してであっても、公的な委員も参加して、一緒につくっていくという体制がないといけないのではと思う。できる限り住民と関わっていくという日常的な取り組みもお願いしたい。
19	学校の統合	子供にとってのメリットとデメリットを考えて、学校の統廃合を進めていって欲しい。
20		小中学校の適正配置については、地域に与える影響も考慮したうえで慎重に進めてほしい。
21		保育所も学校もそうだと思いますが、やはり、人間は集団の中で生活するということが非常に大事だなと感じました。統合に関しては、メリットとデメリットがあるということは、非常によく分かります。そのところは、先生方は子ども達と日々の生活の中で感じていることを、保護者に対して公平な立場で伝えてあげて、そのうえで保護者が判断できればいいなと思いました。
22	コロナからの復興又は感染症防止対策	コロナ禍で、経済は停滞しておりまして、その中で事業者をより元気にするような施策がまち・ひと・しごとというところだと思いますが、その部分を施策で盛り込めればと思います。
23		コロナによって受けた我々の影響をどうリカバリーしていくのか、推進していくのかという観点です。
24		まだコロナのワクチン接種率は100%までは行ってないと思いますので、なるべく接種率が上がるように取り組んでもらいたい。
25	産業の振興	やはり外に出ていくことを防ぐという施策も必要なのかなというのは考えておりまして、経営の支援や新たなチャレンジに対する投資というところに、いろんな角度から支援を向けていただきたい
26		四万十町は食材の宝庫ですので、ジビエのイノシシとか、タケノコ・ワラビとか、ショウガや豚肉など沢山あるわけですから、レシビのコンテストか何かやって、アピールしていてもいいなと思いました。
27	縮小する社会	人口規模が縮小していくことはやむを得ないので、縮小の幅を小さく抑える努力をしながらも、先を見据えた計画は必要ではないか。

28	四万十川	四万十川を中心に据えてほしいということです。いろんなもののベースになっていると思いますので、特徴や印象をつけるためにも、やはりその名前が答申書にも入ってほしいなと思いました。
29		町民が一体となって川の保全にとか、そういうことに関心があって、自然環境に対して町民の意識の高まりがあるということについては、基幹産業を守るとか、すべてにおいて相乗効果があると思うので。
30	高齢者・障がい者福祉	自力で買い物や病院に行けなくなるとか、個人の努力では、どうにもならないことがあって、それを町の仕組みとして支えていくっていうところを、もう少し計画の中心部の方に持ってきていただきたいと思います。
31	多様性	広い意味で多様性ということです。国際社会との共生とか、女性のだとか、たくさんありますけども、そういった多様性っていうのはやっぱりこれだけ言われてる中でという話です。
32	デジタル化の推進	デジタル技術の推進については、昨今の状況を見て欠かすはできないのでは。